

## 南波 誠 メモリアル・マッチ・イン・西宮 2009

Makoto Namba Memorial Match in Nishinomiya 2009

2009 年 8 月 8-9 日

8-9 Aug., 2009

ISAF EVENT GRADING 4

### SAILING INSTRUCTIONS (Ver. 2.1)

#### 略語

PC: プロテスト委員会(プロテスト・コミッティー)

OA: 主催団体(オーガナイズিং・オーソリティー)

RRS: セーリング競技規則

RC: レース委員会(レース・コミッティー)

SI: 帆走指示書

NoR: レース公示

#### 1. ルール

1.1 本大会には以下のものを適用する。

- (a) RRS に規定されたルール。付則 C を含む。
- (b) ハンドリング・ボーツ(SI のアペンディックス C)。これは練習中にも適用される。クラスルールは適用しない。
- (c) 各国協会規程は適用しない。

1.2 NoRとSIとの間で矛盾が生じた場合、本SIが優先する。

1.3 RRS C8.6として以下を追加する。

「そのマッチのアンパイアと他のアンパイアの最低 1 名が、艇が RRS 14 に違反して損傷したと判定した場合、審問なしで 0.5 点のペナルティーを課することができる。このペナルティーを課せられた競技者は、可能な限りできるだけ早くそのことを通知され、また審問を要求することができる。そのとき PC は RRS C6.6 に従って進める。その場合には、PC により決定されるペナルティーは 0.5 点を超えることがある。アンパイアは、0.5 点を超えるペナルティーが適切であろうと判断した場合、RRS C8.4 に従って処理しなければならない。このペナルティーはラウンドロビン・ステージでは違反者の減点、ノックアウト・ステージでは違反者の相手方への加点として扱う。」

1.4 RRS C11.3(a)の最後の文章を以下のものと置き換える。

「RC がセールオフを実施できないと判断した場合、以下のようにしてタイを解く。タイとなった競技者間で、第 1 レースを除外した場合のラウンドロビンの得点で順位を決める。これでタイが解けない場合は第 2 レースも除外したラウンドロビンの得点で順位を決める。以下、順にタイが解けるまでこれを繰り返す。」

1.5 RRS C11.1 の最初の文章を以下のように変更する。

「ラウンドロビン・シリーズとは、すべての競技者が互いに 1 回以上帆走することが予定されている競技者のグループ分けをいう。」

1.6 RRS C3.1 のスタート信号の表を以下に変更する。

時刻(分)	視覚信号	音響信号	意味
6 分前	F 旗掲揚	1 声	注意信号
5 分前	F 旗降下および数字旗掲揚*	1 声	予告信号
4 分前	P 旗掲揚	1 声	準備信号
2 分前	青色旗もしくは黄色旗または両方の旗の掲揚**	1 声	スタート前のエントリータイムの終了
0 分	予告信号と準備信号降下	1 声	スタート信号

注意: \*, \*\*印の注記は RRS の通りである。

1.7 リタイア

スキッパーが RC にリタイアを通告し、レース海面に来ないかレース海面を離れたことが明らかな場合、RC はアンパイアと協議の上、そのスキッパーの得点を 0 点、対戦相手の得点を 1 点として、ペーリング・リストを変更することができる。本項は RRS C8.5 を変更している。

<b>2. 参加と参加資格</b>									
2.1	OA により招待されたスキッパーのみが、大会に参加する資格がある。招待の基準はレース公示の通りである。参加を認められたスキッパーを SI アペディックス A に示す。								
2.2	参加資格を持続するためにスキッパーは、指定された日までに参加料 6 万円の支払を完了し、以下の期間中に乗員の登録と計量を完了させなければならない。ただし、OA が変更した場合を除く。  計量／8 月 8 日 08:00 から 08:45。なお、8 月 8 日 08:45 までに事前申告のあった交代クルーに限り、8 月 9 日 08:00 から 08:15 の間にも計量できる。 乗員登録／計量と同じ時間帯。								
2.3	各スキッパーは乗艇したボートのダメージや損失について責任がある。ただし、OA によって別に責任分担が割り当てられた場合はそれに従うこと。(18 項参照)								
2.4	マッチの予告信号後、登録されたスキッパーは、緊急の場合を除き、舵を離してはならない。								
2.5	登録されたスキッパーが大会を継続できなくなった場合、OA はオリジナル・クルーメンバーを代理として認可することができる。レース海面においては、OA に代わり RC がこの認可を行うことができるものとする。								
2.6	登録されたクルーメンバーが大会を継続することができなくなった場合、OA は交代クルー、一時的な交代、またはその他の調整を認可することができる。レース海面においては、OA に代わり RC がこの調整を行うことができるものとする。								
<b>3. 競技者との連絡</b>									
3.1	競技者への通告は、レース本部付近に設置された公式掲示板に掲示される。レース本部は、新西宮ヨットハーバー内、ストックスペース「126」である。								
3.2	陸上で発する信号は、音響信号 3 声とともにレース本部付近に掲示される。								
3.3	スキッパーは、OA によって許された場合を除き、8 月 8 日 08:45 から行われる艇長会議ならびに最初のブリーフィングに参加しなければならない。以後行われるブリーフィングはアペディックス B 大会スケジュールに示す。								
3.4	アンパイアとの最初のミーティングは、最初のブリーフィングに引き続いて行われる。								
<b>4. 帆走指示書の変更</b>									
4.1	陸上で行われる SI の変更は、影響を及ぼすレースの最低 60 分前に RC と PC の代表者により署名のもと掲示する。								
4.2	海上での SI の変更は、音響信号 3 声とともに第 3 代表旗を掲揚することによって行う。この場合、各艇は本部船の音が届く範囲に集まること。また、アンパイアが、口頭か書面のいずれかでこのことを伝達することができる。								
<b>5. ボートとセール</b>									
5.1	(a) 本大会は、Y-23 クラスのボートにより帆走競技する。 (b) 使用すべきセールは RC により割り当てられる。 (c) 競技者は、シリーズ中、スポンサーの要請を満足するためにセールを交換することを要請されることがある。このことは救済の要求の対象とはならない。これは RRS62 の変更である。								
5.2	用いなければならないセールの組み合わせは、注意信号の 1 分以上前に、RC ボートから信号を発する。信号は次のことを意味するものとする(連続音響信号を伴う)。  <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">信号</td> <td>用いなければならないセールの組み合わせ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">-----</td> </tr> <tr> <td>オレンジ旗</td> <td>そのフライトのすべてのマッチ競技者はスピネーカーおよびスピンプールを用いてはならない。</td> </tr> <tr> <td>黒色旗</td> <td>そのフライトのすべてのマッチ競技者は、メインセールをワンポイント・リーフしなければならない。</td> </tr> </table>	信号	用いなければならないセールの組み合わせ	-----		オレンジ旗	そのフライトのすべてのマッチ競技者はスピネーカーおよびスピンプールを用いてはならない。	黒色旗	そのフライトのすべてのマッチ競技者は、メインセールをワンポイント・リーフしなければならない。
信号	用いなければならないセールの組み合わせ								
-----									
オレンジ旗	そのフライトのすべてのマッチ競技者はスピネーカーおよびスピンプールを用いてはならない。								
黒色旗	そのフライトのすべてのマッチ競技者は、メインセールをワンポイント・リーフしなければならない。								
5.3	艇に対するその他の制限または指示は、アンパイアから口頭でなされることがある。第 3 代表旗は必要としない。								

<b>6 艇の識別と割り当て</b>	
6.1	艇は、各艇に記載されたボートナンバーにより識別される。
6.2	メインセールには、OAにより提供された文字を表示することを求められることがある。
6.3	競技者は、原則として日ごと、およびステージごとに抽選により艇を割り当てられる。その抽選は RC が行い、競技者はその決定に従うものとする。
6.4	競技者は、ペアリング・リストに指示がある場合、そのフライト終了後ペアリング・リストに従い艇を乗り換える。
<b>7 クルー・メンバー、人数と体重</b>	
7.1	1 チームの乗艇できるクルーの合計体重は 340kg 以下でなければならない。体重測定は、少なくともショーツ(パンツ)とシャツを着用した状態で行う。この計量は OA によって指定された計量期間に行い、計測は機器の誤差を考慮して各自の表示体重より 0.2kg を差し引いた数値を公式体重とする。
7.2	1 チームの登録乗員人数に制限はない。7.1 項の制限体重内であればクルーは交代してもかまわない。ただし、第 2 レース以降のクルーの人数は、第 1 レースに乗艇した人数より多くても少なくてもいけない。また、クルーを交代する場合には事前に RC の了解を得なければならず、交代に要する時間はスタート延期の要求の対象とはならない。
7.3	乗員のうち少なくとも 1 名は、旧 5 級小型船舶操縦士または新 2 級小型船舶操縦士(5 トン限定)以上の免許を所持しており、海上に出るときは常時携帯していなければならない。
<b>8 イベント・フォーマットとスタートのスケジュール</b>	
8.1	イベント・フォーマットは SI のアペンディックス B に記す。フライトで帆走するマッチの組み合わせは、ペアリング・リストにより RC より配布指示する。
8.2	レース日は、8 月 8 日から 8 月 9 日までを予定している。
8.3	それぞれの日にレースをするマッチの数は、RC の決定による。
8.4	(a) RC は、そのときの状況または予定している残りの時間ではマッチの残りを続けようとするのが不可能であると判断した場合、ステージまたは大会を終了することができる。初期のステージは、その後のステージを行うために終了することがある。 (b) RRS C10.3(b)を以下に変更する。 「1 回のラウンドロビンが完了する前にフライトまたはマッチが途中終了した場合、最高得点はその時点での勝率によって決定するものとする。ただし、1 名またはそれ以上の競技者が予定されたマッチの 1/3 未満しか完了しない場合を除く。この場合、全体のラウンドロビンが無視されなければならない、必要な場合には大会が無効と宣言される。」
8.5	最初の注意信号発令予定時刻は、8 月 8 日が 10:00、8 月 9 日が 09:00 である。
8.6	引き続き行われるそれぞれのフライトは、実行可能な限り速やかに前のフライトに引き続いて開始する。これは、前のフライトの最終マッチがフィニッシュすることを必ずしも要しない。
8.7	あるマッチが予定した時刻にスタートできない場合、次のマッチの信号とスタートは元の予定のままとし、スタートしないペアは空白のスタートのままとする。スタート・シークエンスの旗は、空白のスタートに対しては掲揚しない。
8.8	ノックアウト・シリーズで、あるシリーズの勝者が決定された場合、引き続き行われるスタートは、空白のスタートをなくすために前に持ってくるものとする。競技者には、アンパイアより口頭でそのことを伝える。
<b>9 レース海面</b>	
レース海面は、鳴尾浜沖または南芦屋浜沖である。海面は、レース当日の最初の艇長会議において指示する。	
<b>10 コース</b>	
10.1	(a) <b>コースの形状</b> (縮尺どおりではない)

マーク W ○

マーク L ○

(スタート/フィニッシュ・ライン) ○ ..... ○  
ピンエンド・マーク RC ボート

(b) **コース信号と帆走すべきコース**

コース信号は、予告信号と同時またはその前に RC ボートに掲揚する。マーク W と L は、スターボード(右)回航しなければならない。

信号	コース
信号なし	スタート-W-L-W-フィニッシュ
S 旗	スタート-W-フィニッシュ

(c) **マークの説明**

- ・RC ボートは、メインマストに JYMA の旗を掲げたボートである。
- ・スタート/フィニッシュのピンエンド・マークは、直径約1m、高さ約1mのオレンジ色のブイを使用する。
- ・マーク W および L は、直径約1m、高さ約1mの黄色のブイを使用する。

(d) **コースの変更**

- ・レース中のコースの変更は行わない。
- ・コース設定時の**特例**

風向の変化より、レース運営上必要と RC が判断した場合、風上マーク W として、直径約1m、高さ約1mの黄色のブイと直径約1m、高さ約1mのオレンジ色のブイと 2 個のブイを設置する場合がある。この場合、F 旗の掲揚とともにマーク W を示す次の旗を掲揚する。この色旗はそのフライト終了まで掲揚する。

旗	意味
緑色旗	そのフライトの上マークは黄色ブイ
赤色旗	そのフライトの上マークは赤色ブイ

10.2 **スタート/フィニッシング・ライン**

- (a) スタート/フィニッシュ・ラインは、スタート/フィニッシュ・マーク(ピンエンド・マーク)のコースサイドと、RC ボートの JYMA 旗を掲げたメインマストとの間のコースサイド側の直線である。
- (b) RC ボートには、ラインでつないだブイおよび/またはゴム・ボートを取り付けることがある。艇は、常にこのブイおよび/またはゴム・ボートと RC ボートとの間を通過してはならない。このブイおよび/またはゴム・ボートは、RC ボートのグランド・テークルの一部である。

10.3 **レースの中止**

- (a) RRS32 を削除して、以下の文と置き換える。  
「RC は、スタート信号後、何らかの理由のために、実施できる場合はそのマッチのアンパイアと協議後、マッチを中止することができる。」
- (b) スタート信号後、レースの中止を決定した場合、RC ボートから音響信号 3 声とともに N 旗を掲揚する。数字旗とともに N 旗が掲揚された場合、その数字旗で示されたマッチのみを中止するものとする。(レース信号の変更)

11 **損傷と修理のための時間**

11.1 フライトの注意信号の前、またはフィニッシュ後の 2 分以内、または新しい艇に乗り替わった後の 5 分以内のいずれか遅い方までに、艇は、艇体やセールsの破損または損傷あるいは乗員の負傷を知らせるピンク旗を掲げ、次のスタートを遅らせるように求めることができる。その艇は、できるだけ早く RC もしくはアンパイアに状況を報告し、RC ボートの風下に近づけて進み、そこにとどまらなければならない。ただし、別の指示がある場合を除く。

11.2 修理に許される時間は、RC の裁量とする。

11.3	フライトの注意信号発令後は、破損のためにマッチを延期または中止しない。ただし、11.1 項に定められているとおりに破損信号が掲げられた場合を除く。
11.4	RRS 62.1(b)が適用されている場合を除き、修理ができないことまたは注意信号後の破損は、救済の理由とはならない。この項は RRS 62 を変更している。
<b>12 メディア、映像および音響</b>	
(a)	OA はいつでも、メディアの人員と機材(またはダミー)を積み込むことを求めることができ、また競技者にインタビューに答えることを求めることができる。
(b)	レースをしない人員と機材の位置は RC によって決定され、口頭によってアドバイスされることがある。
(c)	OA は、大会期間中に採集された肖像を含む映像と音響を無料で使用する権利を有するものとする。
(d)	クルーメンバー(スキッパーを含む)は、オーディオ・マイクロフォンを身に着けることを求められることがある。
<b>13 賞</b>	
(a)	1 位から 3 位のスキッパーには JYMA 賞が贈られる。
(b)	優勝スキッパーには 09 年 11 月に葉山にて開催される「全日本マッチレース選手権」への出場権が与えられる。
	※また、イベント初日が 09 年 8 月 24 日から 11 月 8 日までの海外のマッチレースについて、そのイベントの OA から JYMA へ招待があった場合、JYMA は本大会の上位者より推薦するものとする。
	※OA は、競技者の不品行、あるいは公式行事への出席を含むリーズナブルな要求に応じることの拒否に対して、賞を減じることができる。
<b>14 行動基準とダメージの取り扱い基準</b>	
<b>14.1 行動基準</b>	
(a)	競技者は、公式行事への出席や大会スポンサーへの協力、および RC への手伝いを含む、競技役員からのリーズナブルな要求に従わなければならない、また大会の名譽を傷つけるような行動をしてはならない。
(b)	競技者は、艇と装備を通常の注意とシーマンシップによって取り扱い、SI アペンディックス C と D に従わねばならない。
(c)	OA は海上においては救命胴衣の着用を強く推奨するが、RC が特に命じるとき以外、救命胴衣を着用するか否かの最終判断は各艇によるものとする。
(d)	本項に対する違反のペナルティは、PC の裁量であり、それには大会へのこれ以上の参加からの排除、賞金の回収、デポジットの保留を含めることができる。
<b>14.2 ダメージの取り扱い基準</b>	
14.2.1	以下のアイテムの紛失は理由の如何に関わらず当該艇の責任とし、当該艇はその損失を OA に負担しなければならない。
(a)	ウンチハンドル:13,000 円/1 本
(b)	抗議旗(Y 旗):5,000 円/1 本
(c)	その他の旗(識別旗、B 旗、損傷旗):各 3,000 円/1 枚
14.2.2	使用されるレース艇が加入している艇体保険の免責額は 150,000 円である。免責額内のダメージ補修費用は、当事者負担とすることがある。
14.2.3	帆走指示書アペンディックス C(ハンドリング・オブ・ボーツ)に違反した結果生じたダメージは艇体保険適用の対象とはならない。全額当事者の負担とする。
14.2.4	他艇との接触によって生じた、艇体、セール、艀装その他備品のダメージは、その保険免責額内の修理費用を当事者間で負担するものとする。その金額は事故の性質により免責額の 150,000 円を超えることもある。 <b>その負担割合は原則として当事者間の協議によるものとする</b> が、当事者から要請があった場合、OA は PC のアドバイスを受けて、以下の割合によって分担することを勧告する。
(a)	権利艇・非権利艇が特定できる場合:権利艇 2:非権利艇 8
(b)	権利艇・非権利艇が特定できない場合:当事者間で均等割りとする
14.2.5	前項に該当するダメージが生じた場合、各スキッパーは帰着後 30 分以内にコンディション・レポートの他に別書式のダメージ・レポートを RC に提出し、口頭でその概要を報告する義務がある。
14.2.6	大会の進行を妨げるような重大なダメージを引き起こしたスキッパーに対して、PC と協議の上、RC はダメージの修理が完了するまでの間そのスキッパーの成績を不戦敗とする場合がある。

**19 否認**

大会に参加するすべての者は、自己のリスクで参加している。OA、その提携者および任命を受けた者は、原因が何であれ、損害、損傷、負傷または被った不都合に対する責任を否認する。

発行日: 2009年8月5日

帆走指示書 Version 2.1

## SI APPENDIX A - LIST OF ELIGIBLE SKIPPERS

### SIアペンディックスA 参加資格のあるスキッパー

Name of Skipper スキッパー氏名	Name of Team チーム名称	JYMA Ranking 1 July 2009
山田 寛 Kan Yamada		3
戸谷 壽男 Toshio Toya		9
荒川 友紀彦 Yukihiro Arakawa		10
佐藤 麻衣子 Maiko Sato		11
村越 俊介 Shunsuke Murakoshi		13
中野 誠 Makoto Nakano		15
宮川 英之 Hideyuki Miyagawa		18
今井 信行 Nobuyuki Imai		22

## SI APPENDIX B - EVENT FORMAT and SCHEDULE OF EVENT

### SIアペンディックスB イベント・フォーマット & 大会スケジュール

#### イベント・フォーマット

- ファースト・ステージ(ラウンドロビン)
  - すべてのスキッパーは1回のラウンドロビンを帆走する。各々のスキッパーは互いに1回対戦する。
  - ファースト・ステージ1位と2位のスキッパーは、ファイナル・ステージの優勝決定戦に進む。
  - ファースト・ステージ3位と4位のスキッパーは、ファイナル・ステージの3位決定戦に進む。
  - ファースト・ステージ5位と6位のスキッパーは、ファイナル・ステージの6位決定戦に進む。
  - ファースト・ステージ7位と8位のスキッパーは、それが最終成績となる。
- ファイナル・ステージ(ノックアウト)
  - 優勝決定戦は、2点を先取したスキッパーが最終成績で優勝となり、負けたスキッパーが2位となる。
  - 3位決定戦は1点を先取したスキッパーが3位となり、負けたスキッパーは4,5位決定戦に進む。
  - 6位決定戦は1点を先取したスキッパーが4-5位決定戦に進み、負けたスキッパーは最終成績6位となる。
  - 4-5位決定戦は、1点を先取したスキッパーが最終成績4位となり、負けたスキッパーが5位となる。
- ペアリング・リストは最初の艇長会議のときに別紙で配布する。

#### 大会スケジュール

<b>8月8日(土) レース日(初日)</b>	
08:00	レース本部オープン
08:00-08:45	受付と体重測定
08:45-09:15	艇長会議&アンパイア・ブリーフィング
09:30	レース艇ドックアウト
10:00	最初のマッチの注意信号発令
17:00-17:30	アンパイア/スキッパー・ブリーフィング・艇長会議(翌日分)
17:30-19:00	レセプション
<b>8月9日(日) レース日(最終日)</b>	
08:00	レース本部オープン
08:00-08:15	交代要員の受付と体重測定 (初日の08:45までに事前申告のあったチームに限る)
08:30	レース艇ドックアウト
09:00	最初のマッチの注意信号発令
16:15-16:45	アンパイア/スキッパー・ブリーフィング
16:45-17:00	表彰式
17:30	レース本部解散

## SI APPENDIX C - HANDLING BOATS

SI アペンディックス C ハンドリング・ボーツ(艇の取り扱い)

<b>1 全般</b> 艇をイコライズ(対等にする)こと)するための適切な過程が踏まれている限り、艇のヴァリエーション(違い)は救済の理由とはならない。この項は RRS 62 を変更している。
<b>2 禁止されるアイテム(品目)と行為</b>
2.1 緊急時または損傷や負傷を予防するため、あるいはアンパイアが指示した場合を除き、以下の項目を禁止する。
2.1.1 提供された装備に何かを付け加えたり、省略したり、あるいは変更を施すこと。
2.1.2 当初意図された目的、または特に認められた目的以外に装備を使用すること。
2.1.3 RC の許可を得ずに装備を交換すること。
2.1.4 損傷を引き起こす恐れがあることが明らかであるようなセーリング方法をとること。
2.1.5 それ自体を使用している場合を除き、通常の保管位置から装備を移動すること。
2.1.6 前もって許可を受けずに艇に乗り込むこと。
2.1.7 必要とされるダメージ・デポジットなしで、あるいは RC の許可なしで、またレース日においては「AP」旗が陸上で掲揚されている間に、停係泊場所から艇を受け取ること。
2.1.8 艇を上架したり、喫水線以下を清掃すること。
2.1.9 レース中にバウハッチを使用(開閉)すること。レース中はバウハッチを閉じ、ロックしておかなければならない。
2.1.10 スピネーカーの帆布にラインを取り付けること。
2.1.11 たとえテルテールを取り付けるためであっても、セイルに穴を開けること。
2.1.12 無線交信機(携帯電話を含む)を使用すること。ただし、損傷の報告などの緊急時、RC の要請に対して返信する場合を除く。
2.1.13 バックステイ以外のスタンディング・リギンのテンションを調整すること。
2.1.14 メインシート、バックステイ、またはヴァングの調整にウインチを用いること。
2.1.15 レース中、エンジンをブラケットに取り付けたままにすること。
2.1.16 リーフ・ラインをアウトホールとして使用すること。
2.1.17 フォア・セイルのシートを直接交差してウインチングすること。
2.1.18 ウインチにシートを取る前に、ヘッドセール・カーやターニング・ブロックを通す事を省くこと。
2.1.19 コンパス、タイマー、時計以外の電子機器を使用すること。
2.1.20 削除
2.1.21 ハル及びデッキにパーマネント・インクで直接マーキングすること。
2.1.22 スタート信号後、クローズホールドで数秒以上帆走しているとき、メインブームの位置をメイン・トラベラー、メイン・トラベラーの最終ブロックから出ているメインシート、そしてヴァング以外の手段でコントロールすること。
2.1.23 タッキング、ジャイビングまたはバウダウン時の艇の動きを促進させるために、シュラウド(すべてのインナー・シュラウドも含む)のロワー・ボトル・スクリュー(タンバックル)より上部をつかむこと。



2.1.24	メインシートのテークル数を変更してセットすること。
2.1.25	ジブ・シートを1本しか使わず、エンドレスでシーティングすること。
2.2	SI C2.1.22 または 2.1.23 の違反は、艇による抗議の対象とはならない。RRS C8.2 に従ってアンパイアによる処置に属する。(この項は RRS C6.2 と C8.2 を変更している。)
<b>3</b>	<b>容認されるアイテム(品目)と行為</b> 以下の項目は許される。
3.1	以下の装備を積み込むこと。 (a) 基本的な手動工具 (b) 粘着テープ (c) ライン(直径 4mm 以下の弾性のあるものまたはそれ以外のもの) (d) マーキング・ペン (e) テルテール用の素材 (f) 時計、タイマー、ハンドヘルド・コンパス (g) シャックル、クレビス・ピン、割ピン、リング・ピン (h) ベルクロ・テープ (i) ボースンチェア (j) セール・リペア・キット (k) 予備の 8 インチ・ウインチハンドル(最大 2 本まで) (l) 予備の信号旗 (m) 船底に引っかかった藻やごみを取るための道具。この道具は 4m 以内のロッド、あるいはそのロッドに 4m 以内のロープを組み合わせたものに限る。この道具はその目的以外に使用してはならない。
3.2	以下のために 3.1 項の装備を用いること。 (a) ライン、セール、シートの汚れ、破損の予防。 (b) テルテールの取り付け。 (c) セールの損傷または艇外への落下の防止。 (d) セッティングをコントロールするためのマーキング。 (e) 小補修の実施。
3.3	スピネーカー・シート・キャッチャーの固定。ただし、艇長より 100mm 以上伸ばさないこと。また、除去後の修理を必要としないこと。
3.4	いかなる方法でも変形しないこと、そしていかなる荷重によってもダメージを引き起こさないことを条件に、ハイキングを助けるために以下のアイテムを用いることは許される。 (a) ワーキング・シート (b) スタンディング・リギン(SI で明確に禁止されていることを除く) (c) 固定された装備
<b>4</b>	<b>義務であるアイテム(品目)と行為</b> 以下の項目は義務である。
4.1	たとえダメージがなく、すでにロスが記録されている場合でも、毎レース日、艇を離れる前にその日に乗艇したすべての艇に関するコンディション・レポートを RC に提出しなければならない。レポートにはダメージの原因であつたであろう点や今後のマッチに及ぼすであろう影響も含めなければならない。他艇との接触によるダメージがあつた場合は、コンディション・レポートの他に、SI 18.2 項の要請によるダメージ・レポートを提出しなければならない。
4.2	各レース日の終わりに、 (a) ダメージがなければ、セールをバッグに入れキャビン内に収納すること。 (b) その日最初に艇に乗り込んだときと同様にきれいに清掃して艇を離れること。 (c) バックスティのテンションを緩めること。 (d) チェック・リスト(アペンディックス D)に従って備品をチェックすること。
4.3	レース最終日には最期に乗艇したチームがその艇を清掃し(デッキ、キャビン、ハルともに)、すべてのゴミ、テープ、マークを除去すること。さらにアペンディックス D に従って備品をチェックすること。その他、アペンディックス E に従い、後片付けを行うこと。
4.4	いかなるやり方でも艇の装備の変更要求は書面で行い、文面は YES/NO で簡潔に回答できる文章でなければならない。

4.5 停泊・係留場所とレース海面の往復時には、速度制限や航海標識を含む法令に従うこと。
4.6 レース中、エンジンはブラケットから取り外し、キャビン内に収納すること。この際、エンジンの頭部をバウ方向に置いて寝かせ、マストステップにロープで固定すること。燃料タンクは所定の位置のまま動かさないこと。
4.7 本項の 4.2 と 4.3 の違反は損傷とみなされ、その日の最終搭乗スキッパーの責に帰す。

## SI APPENDIX D – Check List of Race Boat

SI アペンディックス D レース艇のチェックリスト

**レース・ボートのチェック・リストは艇の引渡し時に配布される。**

**出艇前に確認してください！**

### 1. エンジン周り

- 絶対にチルトアップ状態ではエンジンをかけてはいけません。
- スターンハッチに燃料タンクがありますから、半分以上入っていることを確認してください。入ってなかったら補給してください。ただし、混合比は50:1です。
- キルスイッチを確認してください。
- 燃料ホースが繋がっていることを確認してください。燃料ホースを装着したら、原則として上架するまで、外さないでください。
- 燃料ポンプを押して燃料を供給してください。

### 2. スタンディング・リギン

- マストステップのリギンに亀裂等がないことを確認してください。
- グースネックの部品に亀裂等がないことを確認してください。
- 艀装品の作動確認、ビス・ボルト類の脱落チェック等を行ってください。

**おかたづけ！ Don't forget！**

1. 備品チェックリストをもとに備品を定位置に戻してチェックリストに記入して下さい。紛失した備品は、報告をして下さい。
2. 艇・セール等にダメージがあるときは、報告書を提出してください(書式自由)。場合によっては有償にて修理をお願いします。
3. ハリヤードは、所定の位置に、必ずスタンディング・リギンから離して固定してください。
4. バック・ステーは必ずルーズにしてください。
5. エンジンの燃料ホースを抜いて、燃料タンクのところにしまってください。
6. 最後にセンタービルジをスポンジで吸んでください。

以上大切に乘ってください！

## SI APPENDIX E

Co-operated by; Shin-Nishinomiya Yacht Harbour

SI アペンディックスE 片付け

7位、8位のチーム	本部艇備品 本部艇水洗 レース予備備品	ストックスペース「126」まで 新西事務所まで
6位のチーム	マーク、アンカーおよびそのライン	「126」まで
5位のチーム	中野ラバー水洗解体	「126」まで
4位のチーム	中野ラバー水洗解体	「126」まで
3位のチーム	中野ハードボトムラバー水洗	「126」まで
2位のチーム	中野ハードボトムラバー水洗	「126」まで